

大塚・池袋をも焼きつくした大空襲

皆んなで
学ぼう!

4・13 城北大空襲とは 何であったか

4・13 根津山小さな追悼会空襲学習会

2024年4月26日(金)18:30 *18:15 開場

「IKE・Biz」第3会議室 (6階)

1945(昭和20)年4月13日深夜から14日未明にかけて、アメリカ合衆国陸軍の巨大爆撃機B29約350機が、池袋など豊島区の大部分をはじめ、板橋区、北区・新宿区・文京区などの一帯を襲い、死者約2500人、焼失家屋約17万戸という被害を出しました。同年3月10日の下町方面を襲った「東京大空襲」に次ぐ、東京市街地への大空襲です。私たちの街が焼け野原となったのです。

この空襲はどんなものであり、多くの対日空襲の中でどのような位置にあるのか、考えていきます。

ウクライナやパレスチナでの今日の事態をみるにつけ、私たちの街を襲った空襲について、よく知ることは、ますます大事なこととなっているのではないのでしょうか。

話す人：青木哲夫

(当会実行委員、東京大空襲・戦災資料センター主任研究員)



〒171-0021 豊島区西池袋 2-37-4
池袋駅西口より徒歩10分、
メトロポリタン改札より7分

【主な内容】

- ・城北大空襲のあらまし
- ・アメリカ軍の目的
- ・城北大空襲の被害
- ・対日空襲の歴史と城北大空襲
- ・平和のために

参加費：無料 どなたでも参加できます。
運営のためにご寄付大歓迎

●お問合せ：4・13 根津山小さな追悼会事務局
吉田雅明 090-1663-4538